

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力 ドゥシャンベ市第9中央クリニック医療機材整備計画供与式報告

平成30年9月3日、「ドゥシャンベ市第9中央クリニック医療機材整備計画」の供与式が首都ドゥシャンベ市のシノ地区で行われました。供与式には、ドゥシャンベ市保健社会保護課副課長、クリニック院長、その他大勢の病院関係者が参席しました。

タジキスタンでは子どもや出稼ぎに行っていた人、HIV患者などに対して結核の診断が義務付けられています。しかし、第9中央クリニックには結核等の呼吸器系疾患を診断するためのX線透視撮影システムがありませんでした。他の市内公立病院の装置はソ連製で非常に古い上に、複数の病院から患者が訪れるため検査を受けるのに時間がかかり、私立病院は検査費が高額でサービスが受けられる人は限られていました。

今般本計画実施に伴い、新しいX線透視撮影システムが供与され、検査のために同クリニックを訪れる人々により質の高い医療が提供できるようになりました。



花束で歓迎を受ける中垣参事官。



テープカットの様子。



タジキスタンの伝統的な踊りでプロジェクトの成功が祝われました。



本計画で供与された機材。